

事業所名

ぱすてる

## 支援プログラム

作成日

令和7年

3月

3日

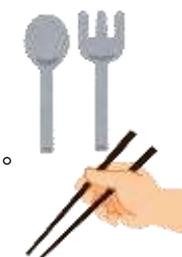
法人（事業所）理念		児童達の内なる才能を引き出し、将来児童達みんなが自分自身の目標と自信が持てるように支援して、又それを更に追求し、将来に希望を抱けるように努力します。								
支援方針		(1)安全で健康的に楽しい時間を持つこと。個人に応じた学習と適度な運動を指導します。 (2)芸術活動を中心に子どもたちの才能と可能性を伸ばします。（絵画、ちぎり絵、折り紙、粘土、工作など） 個々の趣味と才能に合った教材で感性を刺激し、遊びの中から多くを学べるように個々の表現力、創造力を高め、将来の目標と自信が持てるように支援します。								
営業時間		10時	0分	から	18時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	別紙								
	運動・感覚	別紙								
	認知・行動	別紙								
	言語 コミュニケーション	別紙								
	人間関係 社会性	別紙								
家族支援		・本人のコミュニケーションや仕草等で気になったことを帰りの送迎時や面談の際に共有します。 ・関係機関等と連携して情報共有を行い、同一の支援をします。				移行支援		・具体的な意向を想定した子どもの発達の評価を行い、保護者の意向確認や状況共有を行います。 ・他関連機関との連携をはかり、支援体制を構築します。		
地域支援・地域連携		・特別支援教育を提供する学校や教育機関と連携し、障害児の教育的ニーズに応じた支援を行います。 ・地域の清掃活動を通して、自己肯定感の向上を育みます。				職員の質の向上		・経験や職種に応じた研修の参加を促しスキルアップの機会をつくっていきます。		
主な行事等		・地域社会の一員として活動に参加できるよう、地域のイベントや活動の機会を提供します。また社会見学として企業を訪問し、いろいろな経験を重ねていきます。 ・地震、火災、水害などの避難訓練の実施								

## 5 領域とのつながりを明確化した支援内容

項目	主なねらい
健康・生活	①健康状態の維持・改善
	②生活のリズムや生活習慣の形成
	③基本的生活スキルの獲得
具体的な支援内容	
健康状態の把握及び維持・向上	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 来所時の体温測定、支援中の健康観察など、心身の健康状態の把握を行い小さなサインから心身の異変に気付けるようきめ細やかな観察を行います。</li> <li>・ 体力の維持及び運動能力の向上、障害の特性発達の過程に配慮したリハビリの実施を行い、何より運動が楽しいと思えるよう支援します。</li> </ul>	
基本的生活スキルの獲得	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身の回りを清潔にし、基本的技能(衣服の着脱、身の回りの整理整頓、トイレトレーニング、手洗い・うがい、歯磨きなど)を習慣化できるよう支援します。手洗い・うがい、歯磨きの際には自分で自然と行えるように手順書を掲示しています。</li> <li>・ 物の購入方法などを実際の流れを通して、自立した意思決定や購入方法の経験について学べるよう支援します。</li> </ul>	
構造化等により生活環境を整える	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1日の流れやイベントの説明などは視覚支援を用いた、目で見えて理解できる環境を児童の分かりやすい方法で伝え、不安なく過ごすことができるよう支援します。</li> <li>・ 視覚的に「何がどこにあるか」「どこで何をするか」を絵カード、ジェスチャーなどを使い、具体的に表示しています。</li> <li>・ 経過の認知、曜日や季節の経過の認知を、時計・カレンダー、壁面装飾などを活用した環境を設定します。</li> </ul>	



項目	主なねらい
運動・感覚	①姿勢と運動・動作の向上
	②姿勢と運動・動作の補助的手段の活用
	③保有する感覚の総合的な活用
具体的な支援内容	
<p><b>姿勢と運動・動作の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や運動・動作の改善及び習得、筋力の維持を図ります。</li> <li>個別、集団活動の中で椅子や机を用いて支援を行い、正しい姿勢の習得を目指します。</li> </ul>	
<p><b>補助的な手段の活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童が使用しているめがね、食事においてはスプーンやフォーク、お箸などの補助ツールを効果的に活用できるよう支援します。</li> <li>姿勢の保持や各種の運動・動作が困難な場合、それぞれに適した補助用具などを活用して支援します。</li> </ul>	
<p><b>保有する感覚の活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが保有する五感を最大限に活用できるように、制作活動や遊びを通して支援します。</li> <li>集団活動の中で、運動やダンスなどの体を使う課題や遊びを提供し、身体機能の維持・向上を図ります。</li> <li>バランス感覚が必要な遊びを通して、体の使い方や強弱・方向の感覚、姿勢反射の促進を図ります。</li> <li>感覚に特性がある児童への配慮(イヤーマフの使用、静養室の利用、ついたての設置などの環境設定)</li> </ul>	



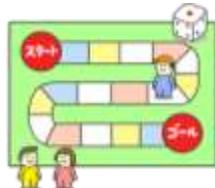
例)ダンス・ラジオ体操・ストレッチ、音楽に合わせて体を動かす活動、つかむ・支える等の要素を取り入れた活動、感覚遊び



項目	主なねらい
認知・行動	①認知の発達と行動の習得
	②空間・時間・数等の概念的形成の習得
	③対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得
具体的な支援内容	
<p>認知の発達と行動の習得</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童が五感を十分に活用しながら、必要な情報を収集して感覚にもとづいた認知機能の発達を促すことができる支援をします。</li> <li>・ 写真、イラスト、文字、絵文字などを活用して、視覚的に理解できる内容として行動に繋がられるよう支援します。</li> <li>・ 音やリズムの違い、色の違いや変化を理解することで、交通ルールや集団生活のルールなどを身に付けることができるよう支援します。</li> </ul>	
<p>空間・時間・数等の概念形成の習得</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空間や時間、形の大きさ、色の違いなど様々な概念の形成を図ることにより認知や行動へ繋がられるように児童の特性や能力に応じた課題や遊びの提供を行います。</li> </ul>	
<p>対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 周囲の情報から必要な情報を取得し、自分で選択できる環境を整えて適切な行動ができるよう支援します。</li> <li>・ 児童の特性による認知の偏りや感覚に配慮しながらこだわりや嫌悪感を軽減できるように、本人が安定した気持ちを保てるよう適切な行動へ導く支援をします。</li> </ul>	



例)学習プログラム、集団でのルールのある遊び、造形物を使った創作活動、季節ごとのイベントや外出



項目	主なねらい
言語 コミュニケーション	①言語の形成と活用
	②言語の受容及び表出
	③コミュニケーションの基礎的能力の向上と手段の選択と活用
具体的な支援内容	
言語の形成と活用	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びや活動を通して具体的な物事や体験と言葉の意味を結びつけて、言語の習得、自発的な発声を促す支援をします。</li> <li>・集団活動を通して他者とのやり取りの場を提供し、職員が間に入り援助、支援します。</li> </ul>	
言語の受容及び表出	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し言葉や各種の文字・記号を用いて相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を活用しながら自分の感情や行動を表出できるよう支援します。</li> </ul>	
コミュニケーションの基礎的能力の向上と手段の選択と活用	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢に応じた活動や関わりを通して言葉遣いや所作を身に付け実践し、コミュニケーション能力を向上できるよう支援します。</li> <li>・言語以外にもジェスチャーや指差し、サイン等を用いて環境の理解や意思の伝達ができるよう支援します。</li> </ul>	



項目	主なねらい
人間関係 社会性	①他者との関わり(人間関係)の形成
	②自己の理解と行動の調整
	③仲間づくりと集団への参加
具体的な支援内容	
アタッチメント形成	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々なコミュニケーションを通して人との関係を意識し、身近な人との信頼関係を構築していきます。その信頼関係をベースに遊び、経験を通して周囲の人や友達との安定した関係を形成できるよう支援します。</li> <li>・ 児童自身の感情が崩れたり不安になった際には、職員が相談に乗ることで安心感を得たり、自分の感情に折り合いをつけたりできるような安心基地の役割を果たせるよう支援します。</li> </ul>	
自己の理解とコントロールのための支援	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分自身の性格やタイプ・考え方、できることや苦手なことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや感情のコントロールができるよう支援します。</li> <li>・ 職員は児童一人ひとりの特性を理解して、声掛けや指示のタイミングを統一して段階を踏みながら支援します。</li> </ul>	
集団への参加と支援	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他者との関わりや活動を通して、人間関係・社会性を身に付け、協調性や思いやりを育て仲間づくりに繋がるよう支援します。</li> <li>・ 集団での手順やルールを理解し、周囲との調和を図りながら遊びや集団活動に参加できるよう支援します。</li> <li>・ 就労や自立に向けた必要な社会的スキルを習得できるよう実践的に学べる機会を提供します。</li> </ul>	

